

中高年の健康とストレスについての日米比較研究： 質問紙調査および生理検査にご協力いただいた方へ

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野・精神看護学分野では、中高年の健康とストレスについての日米比較研究：質問紙調査および生理検査を実施しています。

【研究課題】

中高年の健康とストレスについての日米比較研究：質問紙調査および生理検査（審査番号 1691-(3)）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野・精神看護学分野
研究責任者 川上憲法 東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野 教授
担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

【共同研究機関】

この研究が行われる共同研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

(共同研究機関)	(研究責任者)	(職名)	(担当業務)
東京女子大学現代教養学部	唐澤真弓	教授	データ解析
ミシガン大学心理学部	北山忍	教授	データ解析
ウィスコンシン大学 マディソン校心理学部	Carol Ryff	教授	データ解析
ゆき医院	大田由紀子	医師	データ収集場所提供

【研究期間】

研究期間は東京大学大学院医学系研究科倫理審査委員会承認後（西暦 2007 年 05 月 28 日）から 11 年間で予定しております。

【対象となる方】

2007 年 5 月 28 日 ～ 2010 年 4 月 27 日の間に、東京都 23 区内在住の方で、

本質問紙調査と生理検査にご協力いただいた方。

【研究の意義】

病気とストレスの間には、強い関係があることが知られています。しかし、わかっていないこともたくさんあります。たとえば、日本人は世界で一番寿命が長いのですが、アメリカなど他の国よりもストレスが高いといわれています。ストレスが、病気や健康に関係しているとする、ストレスの多い日本人が長生きをすることは不思議なことです。おそらく、日本人とアメリカ人ではストレスと健康の関係が違っていると考えられます。アメリカ人と日本人のストレスと健康状態の関係を調べることによって、ストレスと健康と文化の関係を理解し、さまざまな文化に住む人々がストレスから健康を守ることができるようになる可能性があります。

【研究の目的】

この研究は、質問紙への回答に加えて血液検査や身体計測の結果からストレスやしあわせ、そして健康への影響が文化や国によって違うのかどうかを明らかにします。

【研究の方法】

(1) 質問紙調査

(社)中央調査社に委託して東京都23区内在住の35歳から75歳の男女1000名を住民基本台帳から無作為に抽出した方に本調査参加の依頼を書面にてお送りします。その後、調査員が訪問して、研究に関して説明し書面にて同意を得た上で、質問票に回答していただきます。記入された質問紙は後日、調査員が回収いたします。質問紙および(社)中央調査社で入力された電子データは、東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野へ全て送られ保管されます。

(2) 生理検査

- 質問紙調査へ回答いただいた方に、質問紙回収時に生理検査について説明文書を用いて説明し、生理検査への参加のご希望をお伺いします。生理検査に参加ご希望された方は、共同研究者のクリニック(ゆき医院)で身体測定を含む生理検査を受けていただきます。その際に改めて、生理検査について説明し書面で同意をいただきます。具体的には、次のことをお願いすることになります。身長、体重、腰囲、胴囲を測ります。血圧を測り、採血(血清総コレステロール、HDLおよびLDLコレステロール、中性脂肪、DHEA、DHEA-S、IL-6、s-IL-6、C反応

プロテイン、フィブリノーゲン、空腹時血糖、GOT、GPT、 γ -GTP、BUN、UA、ヘマトクリット、血色素、赤血球数、白血球数、血小板数)と採尿をお願いします。病院においでの際に、自宅で回答いただく質問紙と唾液の収集キットをお渡し致します。ご帰宅後、質問紙にお答えいただき、また3日間1日3回、唾液を集めていただきます。この唾液サンプルは、唾液中ストレス関連ホルモンでのコルチゾールを測定します。す。

クリニックでは、身体計測として身長、体重、腰囲、胴囲を測ります。血圧を測り、採血と採尿をお願いします。病院においでの際に、自宅で実施いただく質問紙と唾液キットをお渡しします。ご帰宅後、質問紙に回答いただき、また、3日間、1日4回、唾液を採取していただきます。3日間の唾液サンプルが集まりましたら東京女子大学あてにご送付ください。

具体的な測定項目は次のとおりです。クリニックにて身体計測（身長、体重、腰囲、胴囲）を測ります。測定データは東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野にて電子データとして入力、保管されます。具体的には、採尿と血圧を測り、採血（血清総コレステロール、HDLおよびLDLコレステロール、中性脂肪、DHEA、DHEA-S、IL-6、s-IL-6、C反応プロテイン、フィブリノーゲン、空腹時血糖、GOT、GPT、 γ -GTP、BUN、UA、ヘマトクリット、血色素、赤血球数、白血球数、血小板数）をお願いします。病院においでの際に、自宅で回答いただく質問紙と唾液の収集キットをお渡し致します。ご帰宅後、質問紙にお答えいただき、また3日間1日3回、唾液を集めていただきます。この唾液サンプルは、唾液中ストレス関連ホルモンでのコルチゾールを測定します。

米国のデータとの検査値の整合性を保つために、送付前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした状態で、血液、尿、および唾液サンプルは、米国（ウィスコンシン大学・バーモント大学臨床生化学研究所）およびドイツの検査機関（ドレスデン工科大学）に送付され、測定されます。血液サンプルの一部は国内の検査機関（（株）昭和メディカルサイエンス）でも測定されます。測定された値の電子データは東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野に送られ保管されます。

【個人情報の保護】

皆様の質問紙調査や生理検査に関連する情報・データ等は、東京女子大学、ウィスコンシン大学、ミシガン大学へ送られ、解析・保存されますが、送付前に氏名・

住所・生年月日等の個人情報削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野において厳重に保管します。質問紙や（社）中央調査社で入力した電子データは全て、東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野に送られ保管されます。血液サンプルや唾液サンプルは、新しくつけた符号のみで管理し、検査機関（（株）日本昭和メディカル、ウィスコンシン大学、ドレスデン工科大学、バーモント大学臨床生化学研究所）で測定します。測定データは東京大学大学院精神保健学分野に送られ保管されます。残サンプルはすべて研究終了後に破棄します。ただし、調査結果が必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をご本人にお知らせすることもできます。

【研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手または閲覧】

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される本調査にご協力いただいた方は東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野 川上憲人へご連絡ください。本調査にご協力いただいた他の方の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り入手または閲覧が可能となります。ただし、入手または閲覧の目的によっては入手または閲覧をお断りする場合がありますのでご了承ください。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野 川上憲人にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで [2017年5月29日まで](#)にご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承ください。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表され、ホームページ (<http://www.midus.wisc.edu/findings/>) でも公開されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、アメリカNational Institute of Health の研究費Midlife in Japan(研究代表者Carol Ryff)から支出されています。

【問い合わせ先】

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野・精神看護学分野

担当者：川上 憲人

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-5841-3364 FAX：03-5841-3392

※お問い合わせの際には、「オプトアウト」の件でお伝えいただき、1ページ目の[研究課題名と審査番号をお知らせください。](#)